地区研究会報告

　知多地区　　　　　　　　知多地区事務局員　山本　優樹（愛知県立武豊高等学校）

　令和３年度知多地区研究会を次のように実施しました。

１　日　時　　令和３年10月19日（火）　14:30～16:30

２　場所　　　オンライン

３　テーマ　　BYOD・CYOD推進に向けてのMicrosoft365活用

４　参加校　　知多地区はじめ県内高等学校から約70名

５　日程および内容

　14:30　開会式

　　　 　担当校長挨拶：高橋利生（愛知県立武豊高等学校長）

　　　　 講師紹介：日本マイクロソフト株式会社　嶋田幸子氏・原田緑氏

　14:40　BYOD・CYOD推進に向けてのMicrosoft365活用

　　　　 ―Teams,Forms,OneNoteの機能・活用事例紹介

　16:00 質疑応答

　16:30 閉会式

本年度も、新型コロナウィルス感染症の流行のため、対面型での講演等は行わず、オンラインでの研究大会の実施となった。本年度は昨年度のアンケート調査から見えてきた課題の解消をテーマに、Microsoft365の活用方法を日本マイクロソフト株式会社の講師の方に紹介してもらう形とした。Microsoft365に搭載されているアプリは、WordやExcel、PowerPointなど我々が普段使用しているものが多く、それらをTeamsなどと連携させ、学習支援や校務支援に活用する事例を多く紹介していただいた。研修ではアプリケーションの基本的な機能に関する知識や、それらを組み合わせて活用するなどの工夫によって、比較的小さな負担でICT機器を有効活用できるということがわかった。また、参加者からも有意義な時間となったという感想が多く、このような機会を設けることがこれからは必要だと感じた。

今の時代は、教員が生徒への多様な学びの場を提供するために、ICT機器の基本的な操作や特徴、ツール（アプリケーション）の活用方法を知らなくてはならない状況にある。小さな単位ではあるが、高視協や地区で知識・経験を共有し、教員としてのレベルアップを図っていきたい。